

主題：「神の宮である召会（神の永遠のエコノミーの目標）」  
の内在的な意義

メッセージ 9

キリスト、ダビデの子とさらに大いなるソロモンが、  
神の宮としての召会を建造する道（4）

建物全体が主の中にある聖なる宮へと成長していくことによって

聖書：エペソ 2:21. 4:15-16. コロサイ 2:19. I コリント 3:6-7. 雅 6:4, 13

- I. ダビデの子とさらに大いなるソロモンであるキリストは、信者たちが神聖な命において成長し、神聖な命において共に結合されることを通して、神の宮である召会を建造します——エペソ 2:21. 4:15-16. コロサイ 2:19：
- A. 隅の石であるキリストの中で、建物全体は共に組み合わせられ、主の中にある聖なる宮へと成長していきます——エペソ 2:21：
1. 共に組み合わせられるとは、建物の状態と状況のためにふさわしくされることです。
  2. 建物は生きていますので、（I ペテロ 2:5）、それは成長しています。それは成長して主の中にある聖なる宮へと成長していきます。
  3. 召会の実際の建造は、信者たちが命において成長することによります——マタイ 16:18. エペソ 2:21. 4:15-16：
    - a. 神の宮である召会を建造することは、信者たちが命において成長することによります。命における成長が建造です——I コリント 3:6-9, 16-17. エペソ 4:15-16.
    - b. わたしたちが神聖な命において成長するとき、また神聖な命において共に結合されるとき、わたしたちは建造の中にいます——2:21。
  4. 神の家、神の聖所の建物全体は主なるキリストの中にあります——21 節。
- B. エペソ 4:16 とコロサイ 2:19 は、からだの成長について語っています：
1. 成長するとは、キリストがわたしたちの中に加えられることです——I コリント 3:6-7. ガラテヤ 4:19。
  2. からだの成長は、かしらであるキリストから出て来るものにかかっています——エペソ 4:15-16：
    - a. からだがかしらに結び付くことによって供給されるとき、からだは神が増し加わることによって成長します——コロサイ 2:19。
    - b. からだはかしらから成長します。なぜなら、すべての供給はかしらから来るからです——エペソ 4:15。
  3. からだの成長は、わたしたちの内側で神が成長し、神が増し加わることにかかっています——コロサイ 2:19：
    - a. 神は、主観的な方法でご自身をわたしたちに与えることによって、成長を与えます。
    - b. 神がわたしたちの中に加えられれば加えられるほど、ますますわたしたちに成長を与えます。これが神が成長を与える方法です——I コリント 3:6-7。

## II. 雅歌において、わたしたちは神の建造のための信者たちの命における成長を見ます：

A. 追い求める者は愛する者をととても愛していたので、彼女は命の成長における継続的な変化と前進を経験しました：

1. 「わが愛する者よ、わたしはあなたをパロの戦車の雌馬にたとえる」—— 1:9。
2. 「あなたの目ははどのようなだ」—— 15 節後。
3. 「わが愛する者が娘たちの間にいるのは、ゆりがいばらの中にあるようだ」—— 2:2。
4. 「岩の裂け目、崖の隠れ場にいるわがはとよ」—— 14 節前半。
5. 「煙の柱のように荒野から上って来る者はだれでしょう？」—— 3:6 前半。
6. 「あれはソロモンの寝台」—— 7 節前半。
7. 「ソロモン王は……自分のために輿を造った」—— 9 節前半。
8. 「冠をかぶったソロモン王を見なさい」—— 11 節前半。
9. 「わが妹、わが花嫁は、閉じられた園、閉じられた泉、封じられた水源である」—— 4:12。
10. 「わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのよう、愛すべきことエルサレムのよう」—— 6:4 前半。
11. 「夜明けの光のように見え、月のように美しく、太陽のように明るく、旗を掲げた軍勢のように恐ろしいものはだれか？」—— 10 節。
12. 「『帰れ、帰れ、シュラムの女よ。帰れ、帰れ、わたしたちはあなたを見たい』。『どうして、あなたがたはシュラムの女を見るのですか？ 二つの陣営の踊りを見るように』」—— 13 節。

B. 彼女が復活における新創造として、キリストの昇天において生きることを通して、キリストを愛する者はキリストの命の豊富において円熟します。そして、彼女は神の建造、その保護、聖なる都となります—— 4 節前半。参照、創 2:8-12, 18-24。

1. わたしたちは雅歌において啓示されている神聖なロマンスの四つの段階にあずかることによって、神の住まい、聖所、至聖所となります—— 1:2-3, 2:14, 4:8, 6:4, 啓 21:9-10, 16。
2. 神の聖所となるとは、その計り知れない豊富を伴うキリストの命における成長の中で建造されることです（キリストのからだの建造と関係があります）——エペソ 4:12-16:
  - a. 旧約聖書において、神の建造はテルザとエルサレムによって予表されています。新約聖書においてこの建造はキリストの有機的なからだです—— 16 節。
  - b. 究極的に、キリストの有機的なからだまたキリストの妻（5:25-32）を建造することは、至聖所の究極的完成としての聖なる都である新エルサレムを究極的に完成します——啓 21:2-3, 16, 22。
3. 十字架の対処を通して、わたしたちは神の聖所となります。この聖所は至聖所、すなわち、神ご自身です——雅 6:4 前半：
  - a. わたしたちは至聖所の中に入るとき、神の中に入り、聖所となり、命、性質において神となります——ヘブル 10:19-20。
  - b. 神がわたしたちをご自身の複写とすると、彼がわたしたちをご自身の住まい、

至聖所とすることを意味します——ヨハネ 14:23. エペソ 3:17 前半. 啓 21:16。

© 2009 *Living Stream Ministry*